

# Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.390 2011.6.1 <http://www.oakv.co.jp>



## 森から蘇ろう

よみがえ

稲本 正文

5月に表参道・スパイラルでの展示とシンポジウムは、多くの人にとって「今後の日本をどうすれば良いか」をもう一度、考え直すきっかけになったと思う。

特に、シンポジウムには、定員150名に対し、400名を超える方が集まってくださった。

今回の大災害の中、宮城県気仙沼市からわざわざ東京まで出て来てくれた畠山重篤さんは、「森は海の恋人」と言い、C・Wニコルさんは「森は水の母」だと言った。

確かに、森の木々は綺麗な水を生み出す。また、木々は水の柱である。そして、人間は水の袋である。だから「森を歩く人は、海を泳ぐ魚だ」と、私は思った。

拙著『緑の国へ 生まれかわる日本のシナリオ』に書いた、「日本の再出発を世界の新しい循環型社会のモデルにしよう」という想いを、今後より具体的な形にしていきたいと思っている。